

事業所名

児童デイサービスあおねっと新青森

支援プログラム

作成日

令和 6年

9月

6日

法人（事業所）理念		人権尊重と人権擁護・利用者本位・倫理法令順守(コンプライアンス)と人材の育成と活躍						
支援方針		①人権尊重と人権擁護を念頭に置き児童の将来の自立に向けた支援に努めます。 ②児童のライフステージに応じた一貫した支援に努めます。 ③ご家族を含めたトータルな支援に努めます。						
営業時間		9時	0分	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	①登所時の健康状態の確認・視診 ②緊急時や発作時の対応マニュアルの整備 ③てんかん等、発作時の電話連絡や坐薬挿入 ④日々の発作の状況の確認 ⑤個々の身体の状態に応じたストレッチや休息(首の体操や、足・膝・股関節を伸ばしたり、バギーから降りて横になる時間を設けるなど) ⑥食事に関すること。(食事介助、スプーン・フォーク・箸・皿などを使うことなど) ⑦衣類の着脱に関すること。(着替え、衣類たたみ、衣類の収納など) ⑧排泄に関すること。(トイレトレーニング、トイレを汚さず使用すること、排泄後の拭き取りなど) ⑨歯磨きに関すること ⑩手洗いに関すること ⑪整容に関すること(シャツをしまう練習、髪を結う練習、口を拭く練習など) ⑫マスクを付ける練習 ⑬自立した生活に向けて必要な事柄の練習(食器を洗う、衣類の洗濯～収納、掃除など) ⑭集団活動での軽体操やリズム遊び。 ⑮時間や空間に関して構造化の手法を積極的に取り入れ、安心して過ごすことのできる場所の提供。						
	運動・感覚	①ボディイメージをつかむ(身体の使い方) ②微細運動(ビーズなどのプットイン、ボタンの掛け外し、紐通し、パズル、お絵描きなど) ③粗大運動(散歩・公園での遊具遊びや、集団活動でのしっぽ取り・ダンス・ストップ&ゴーゲームなど) ④玩具での遊び(ドミノ・ジェンガ・くるコロタワー・ブロック・ラキューなど) ⑤楽器遊びやリトミック活動 ⑥個々の身体の状態に応じたストレッチや休息(首の体操や、足・膝・股関節を伸ばしたり、バギーから降りて横になる時間を設けるなど) ⑦正しい姿勢について目で見てわかる形の確認チェックリストを使用する ⑧個々の身体の状態に応じた環境設定(トイレでの踏み台や、椅子・机利用時の高さ調整など) ⑨個々の身体の状態に応じた対応(バギーから降りて立って歩く時間を設けるなど) ⑩鏡を使用しての練習(マスクを付ける練習、髪を結う練習、口を拭く練習など) ⑪感覚過敏に配慮した対応(必要や希望に応じて、視覚刺激を減らすためのパーテーションを使用したり、聴覚刺激を減らすためのイヤーマフを貸し出したりするなど)						
	認知・行動	①玩具での遊び(ドミノ・ジェンガ・くるコロタワー・ブロック・ラキューなど) ②マッチングや1対1対応の学習 ③上から下、右から左など一般的な物事の流れについての習慣付け ④季節に応じた行事や製作活動 ⑤絵本の読み聞かせ ⑥集団活動でのビジョントレーニングプリントや、懐中電灯を使ったタッチゲーム ⑦スケジュールやワークシステム、構造化の手法を取り入れた支援 ⑧書字の練習(ひらがな・カタカナ・数字・漢字など) ⑨数の勉強(数を数える練習や、足し算・引き算・掛け算・割り算の学習など) ⑩色の名前を覚える学習 ⑪カレンダーの見方を学ぶ						
	言語コミュニケーション	①個々の特性に応じたコミュニケーション方法の提供(言葉・文字・写真・イラスト・具体物・絵カード・PECSなど) ②職員と1対1でのコミュニケーション(指差しした物の名称を職員が言葉で「～だね」と伝えるなど) ③相手を意識したやりとりの練習(質問に答える・物の貸し借り・自己紹介カードや絵の発表など) ④援助要求の練習(「手伝ってください」を言葉やカードなど、個々の特性に応じた方法で伝える) ⑤書字の練習(ひらがな・カタカナ・数字・漢字など) ⑥文字を読む練習(単語・短文・物語・絵本、写真と文字のマッチングなど)						
	人間関係社会性	①行動に対して褒める・認める声掛け(上手に出来たね・〇〇がしたかったんだね等)を行うことで、自己肯定感が高まるように支援する ②手遊びうたや楽器演奏などをモデリングや手本を見ながら行う ③活動の流れやルールを目で見てわかる形で伝える ④個々の社会的な気付きのレベル(接近・並行・共有・協力・順番交代・ルールの尊重・対人的相互交渉)に合わせた活動設定 ⑤自分の他に「相手」がいることへの気付きを促すために、職員が介入して遊ぶ(おままごと等) ⑥貸し借りや順番交代の仕組みなどを目で見てわかる形で伝える・小集団での作業課題(並んで同じ作業に取り組んだり、流れ作業の練習を行う等) ⑦長期休み中の午後に外出し、買い物練習をしたり公共施設の利用を通してルールやマナーを学ぶ。また、外出前に当日の流れやルールについて目で見てわかる形で伝える						
家族支援	①半年に1回の定期モニタリング時に、ご家庭での様子やご家族の想い、子育てに関する悩みなどを伺い、子どもの発達状況や特性理解に向けた相談援助を行ったり、傾聴する機会を設けます。また、モニタリング時以外でも、お迎え時や送迎時、電話などでも適宜相談を受け付けています。②レスパイトや就労等の預かりニーズに対応する為、延長支援を行います。③ご家族の負担軽減の為、必要に応じて送迎サービスを提供します。			移行支援		要請があれば相談支援事業所主催のサービス担当者会議や、就学時や卒業時の移行支援会議等に参加し、事業所での様子や取り組み内容について共有する機会を持ちます。		
地域支援・地域連携	保護者同士の交流の機会や、地域で暮らす他の子どもと繋がる機会を提供します(事業所開放や研修会、あおねっと縁日の開催など)			職員の質の向上		内部研修で年に1度救命講習や虐待防止研修を実施している他、自閉症支援者セミナー、キャリアパス研修、強度行動障害者支援者養成研修、その他障がい者支援センターステップさんや社会福祉協議会等主催の研修参加や、各学校や他事業所の見学等を行い、質の向上に努めている。		
主な行事等	季節の行事や製作(花見、七夕、ねぶたまつり、残暑見舞い、十五夜、ハロウィン、クリスマス、年賀状、お正月の遊び、節分、ひなまつり等)、事業所内での軽スポーツや身体を動かすゲーム遊び、長期休みを利用しての課外活動(施設見学、公共施設や公共交通機関の利用、買い物練習など)、絵本の読み聞かせなど							